

第6回周南コンビナート脱炭素推進協議会 議事要旨

開催要領

日 時 令和5年5月31日(水) 13:00~14:30

場 所 周南市役所 多目的室(シビックプラットホーム1階) ※WEB併用

出席者 【構成員】(敬称略)

藤井 律子 周南市長

辻 佳子 公益社団法人化学工学会

地域連携カーボンニュートラル推進委員会委員長

東京大学環境安全研究センター 教授

具嶋 文彦 出光興産株式会社 徳山事業所 担当部長 ※代理出席

田代 克志 東ソー株式会社 代表取締役 専務執行役員 南陽事業所長

奥野 康 株式会社トクヤマ 執行役員 徳山製造所長

藤池 一博 日鉄ステンレス株式会社 常務執行役員 山口製造所長

宮城 孝一 日本ゼオン株式会社 執行役員 徳山工場長

【オブザーバー】(敬称略)

吉村 一元 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長

赤間 康一 国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 所長

福井 和樹 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

地球温暖化対策事業室 室長補佐 ※代理出席

日比野 佑亮 林野庁 林政部 木材利用課 木質バイオマス推進班 課長補佐

※代理出席

大川 真一 山口県産業労働部 理事 産業脱炭素化推進室 室長

稲葉 和也 周南市水素利活用協議会 会長

山口大学 大学院技術経営研究科 教授

福代 和宏 周南市木質バイオマス材利活用推進協議会 会長

山口大学 大学院技術経営研究科 教授

【補佐人】(敬称略)

松方 正彦 公益社団法人化学工学会 会長

早稲田大学理工学術院先進理工学部 教授

石戸 利典 公益社団法人化学工学会

株式会社 IHI エグゼクティブフェロー

阿尻 雅文 公益社団法人化学工学会

東北大学 材料科学高等研究所 教授

藤井 実	公益社団法人化学工学会 国立研究開発法人 国立環境研究所
水口 能宏	公益社団法人化学工学会 日揮ホールディングス株式会社 執行役員 CTO サステビリティ協創部長代行
今井 博文	出光興産株式会社 製造技術部 担当部長
大塚 雄一郎	出光興産株式会社 徳山事業所 管理課
稲毛 康二	東ソー株式会社 南陽事業所 副事業所長 兼 CO2 削減・有効利用 南陽タスクフォースチームリーダー
土谷 和寛	東ソー株式会社 南陽事業所 事業所長室 技術管理グループ 兼 CO2 削減・有効利用 南陽タスクフォースチーム
松本 和也	東ソー株式会社 技術センター 生産技術室 グループリーダー
井上 裕司	株式会社トクヤマ 執行役員 カーボンニュートラル戦略本部長
河野 敦之	株式会社トクヤマ 徳山製造所副所長 兼 工場企画運営グループリーダー
小松 康尚	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主席
大森 一幸	株式会社トクヤマ カーボンニュートラル企画グループ 主席
佃 宣和	日鉄ステンレス株式会社 山口製造所 生産技術室長
棚田 裕一郎	日鉄ステンレス株式会社 山口製造所 総務室長
平川 宏之	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部門長
渋谷 智啓	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル統括推進部門
本間 彰	日本ゼオン株式会社 徳山工場 副工場長 兼 脱炭素推進室長
藤村 佳樹	日本ゼオン株式会社 徳山工場 脱炭素推進室員
泉水 慶太	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル推進室長
谷地 義秀	日本ゼオン株式会社 カーボンニュートラル研究開発推進室長
入野 真一	日本ゼオン株式会社 サプライチェーン統括部門原料部

【陪席・随行】(敬称略)

井出 大士	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
佐野 徹	経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐
河村 浩芳	経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室 総括係長
常数 浩二	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長

小方 祥史	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 新エネルギー活用推進係長
五十嵐 悠	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 係員
山口 慎介	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 課長
藤村 悠司	国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 企画調整課 港湾保安調査官
山内 勇樹	林野庁 林政部 木材利用課 係長
勢登 俊明	山口県産業労働部 産業脱炭素化推進室 主査

【事務局及び関係課】

佐田 邦男	周南市副市長
上野 貴史	周南市産業振興部 部長
荒美 雅丈	周南市産業振興部 次長 兼 商工振興課 課長
吉村 涉	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長
山根 正敬	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室 室長補佐
井尻 帆乃香	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
松尾 陽加	周南市産業振興部 商工振興課 コンビナート脱炭素推進室
川口 洋司	周南市企画部 部長
河本 浩	周南市環境生活部 部長
山田 将之	周南市環境生活部 環境政策課 課長

議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 副会長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 令和4年度事業報告及び決算報告について
 - (2) 令和5年度事業計画案及び予算案について
 - (3) 周南コンビナート脱炭素化グランドデザイン・ロードマップについて
 - ・これまでの経緯
 - ・グランドデザイン、ロードマップの説明
 - (4) 今後の進め方について
- 5 閉会

議事録

1. 開会

(事務局)

それでは、ただいまから「第6回周南コンビナート脱炭素推進協議会」を開催いたします。私は、本日、進行を務めます、周南市産業振興部 次長の荒美と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

本日は、次第のとおり進行し、終了時間を15時と予定しております。

本来であれば、御出席の皆様を御紹介するところですが、時間の関係上、配布しております出席者名簿と配席図をもちまして、御紹介に代えさせていただきます。

なお、本日の会議につきましては、議事4(2)までの部分公開とさせていただきます。

それでは、開会にあたり、会長と副会長からご挨拶をいただきたいと存じます。最初に、会長の藤井市長、よろしくをお願いいたします。

2. 市長あいさつ

(市長)

皆様、こんにちは。周南市長の藤井律子でございます。

開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変御多用のところ、第6回周南コンビナート脱炭素推進協議会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本日は、皆様と幾度となく検討を重ねてきた周南コンビナートのカーボンニュートラル実現に向けたランドデザイン及びロードマップの策定を御報告するとともに、今後、取組の具体化に向けた議論を進めてまいります。

周南コンビナートの2050年カーボンニュートラル実現、そして、本市のパーパスとして掲げる「2050年を乗り越えられる周南市」を推進していく上で、この度、策定したランドデザインを実現することが、この協議会に課せられる使命になると考えております。

周南コンビナートでは、全国に先駆けて、企業同士が連携し、アンモニアの燃料転換という、大きな一歩を踏み出したところですが、カーボンニュートラルへの挑戦は、始まったばかりです。

先日、周南コンビナート4社の社長と各社のコンビナート施設を見学させていただきました。見学会を行ったこと自体が非常に画期的なことであり、各企業のカーボンニュートラルという課題解決に対する期待感がより一層高まるきっかけとなりました。

周南市は脱炭素社会実現に向けたファーストムーバーとして、引き続き、皆様と連携を図りながら、カーボンニュートラルコンビナートを目指した取組を推進してまいりますので、皆様方におかれましては、是非とも忌憚のない御意見・御助言をいただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、副会長の公益社団法人化学工学会の辻佳子様、よろしくお願ひいたします。

3. 副会長挨拶

(化学工学会 辻)

皆様こんにちは。今日、第6回ということですが、実はこういった協議会の形で皆様で集まるのは7月の協議会以来です。

書面決議等もございましたが、議論する場は久しぶりです。しかし、その間、グランドデザインワーキングの中で議論をしてきたこともありますし、3月には市民、高校生と一緒にシンポジウムを協議会として開催したということがこの10ヶ月の大きな出来事だと思っています。

今日は夕方にグランドデザインを公表することになりますけれども、公表することが目的ではなく、2050年にカーボンニュートラルコンビナートを達成するため、議論するだけでなく、動くことが大事だと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。ここからの進行でございますが、周南コンビナート脱炭素推進協議会規約第6条第2項「総会の議長は会長をもってこれに充てる」とありますので、進行を会長である藤井市長にお願いいたします。

(市長)

それでは、早速ですが議事に入ります。まず、(1)令和4年度事業報告及び決算報告について、事務局から説明をお願いします。

4. 議事(1)令和4年度事業報告及び決算報告について

(事務局)

それでは、令和4年度の事業について報告いたします。

総会についてです。

令和4年5月31日、第3回協議会を書面決議にて行いました。

林野庁様へオブザーバーの就任を依頼することに関し、構成員の皆様の同意をいただき可決されました。

令和4年4月28日、第4回協議会を開催しました。

グランドデザイン・ロードマップに関する協議のほか、コンビナートの水素、燃料アンモニア等供給拠点化に向けた検討について審議を行い、構成員の皆様の同意をいただき可

決されました。

続いて、2 ページをご覧ください。

グランドデザイン策定ワーキンググループを開催いたしました。

ご覧のとおり、5月、7月、10月、12月、1月、そして、次のページにございます3月の計6回に渡り、グランドデザイン策定に向けた検討を構成員の皆様と重ねてまいりました。

続いて、啓発活動についてです。今年の2月に、徳山商工高等学校において、環境システム科工業化学コース2年生17人を対象に、本協議会副会長の辻佳子先生から「みんなで考えるカーボンニュートラル社会」として、授業の中で御講演いただきました。

本年3月25日には、協議会主催シンポジウム「周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会」を開催しました。多くの方々に御参加いただき、「みんなで学び、考え、行動する」大切さを、発信することができました。

令和4年度事業報告は以上です。

続いて、4 ページをご覧ください。令和4年度収支決算についてです。

収入といたしまして、周南市からの交付金と諸収入、利息を合わせまして、308万3,221円でございます。

支出としまして、協議会・ワーキング、講演、シンポジウムに要した旅費及び報償金、需用費としてシンポジウムや協議会に係る消耗品、食料費、印刷製本費、手数料は、口座振替手数料、また、グランドデザインの作成経費、委託料はシンポジウムのオンライン配信業務をお願いしたものでございます。そして、使用料は、シンポジウムの会場費、また、シンポジウムで使用する備品を購入いたしました。

最後に、返還金として、収入から支出を差し引いた21万9,489円を、周南市へ返還し、支出の合計は308万3,221円となっております。説明は以上でございます。

(市長)

ここで、監事を代表して、東ソー株式会社 代表取締役 専務執行役員 南陽事業所長の田代様より、監査報告をお願いいたします。

(東ソー 田代)

ただ今御紹介いただきました、東ソー株式会社の田代でございます。

監事を代表して、監査報告をさせていただきます。

令和4年度の周南コンビナート脱炭素推進協議会の決算におきまして、厳正に監査した結果、その内容及び帳簿等関係書類において適正処理されていることを認め、これを報告いたします。以上です。

(市長)

田代様ありがとうございました。では、事務局からの説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。

それでは、特に御質問等ないようですので、令和4年度事業報告及び決算報告について、御承認ということでよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、事業報告及び決算報告につきましては、原案のとおり承認されました。

(市長)

ただいまの事務局の説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。それでは、特に御質問等ないようですので、次の議事に入ります。

4. 議事(2) 令和5年度事業計画案及び予算案について

(市長)

続きまして、(2) 令和5年度事業計画案及び予算案について、事務局から、説明をお願いします。

(事務局)

令和5年度事業計画案でございます。6ページをご覧ください。

「1. 総会」につきましては、年3回の開催を予定しています。事業計画や予算のほか、「周南コンビナートの脱炭素化に向けたランドデザイン・ロードマップ」に基づく各種取組等について、皆様と検討を進め、事業推進を図りたいと考えております。

次に、「2. ワーキンググループ」です。ランドデザイン、ロードマップに基づく取組等に関し、より深化した協議・検討を行うため、随時ワーキングを開催したいと考えています。

続いて、「3. 普及啓発」です。本市のカーボンニュートラルを推進する上で、本協議会の取組を、地域内外に情報発信するとともに、あらゆる世代の方に御理解・御協力をいただくため、今年度も引き続き、市民の皆様への普及啓発に取り組んでまいります。

まず、シンポジウムです。令和4年度と同様、今年度も開催したいと考えております。次に、講演会等ですが、今年度も取組の意義や問題意識の共有に向けて、市内の企業、団体、学生などを対象に開催を企画したいと考えています。また、本協議会の取組、情報を広く発信するツールの1つとして、本協議会のホームページを作成したいと考えています。

事業計画は以上でございます。実施に際しまして、皆様に御協力をお願いすることもあろうかと存じますが、その節は、何卒よろしくお願い申し上げます。

続きまして、予算案です。7ページをご覧ください。

収入の部です。市の交付金として「周南コンビナート脱炭素推進事業交付金」、704万6千円を計上しております、

次に、支出の部です。先程御説明しました来年度の事業の実施に要する経費です。

協議会運営経費として、213万4千円、LCA（ライフサイクルアセスメント）等の調査費として、150万円、シンポジウム・講演会など広報・啓発事業費として、209万7千円、会場使用・賃貸料として、121万5千円、その他（印刷製本・消耗品等）として、10万円、合計704万6千円を計上しております。

以上、令和5年度事業計画案及び予算案を説明させていただきました。よろしくお願いいたします。

（市長）

事務局からの説明について、御意見・御質問等がございましたら、お願いします。

それでは、特に御質問等ないようですので、令和5年度事業計画案及び予算案について、御承認ということよろしいでしょうか。

—異議なし—

御異議ございませんので、事業計画案及び予算案につきましては、原案のとおり承認されました。

ここで報道関係者の皆様にお願いがございます。事前にご案内させていただきましたとおり、本協議会の撮影・取材はここまでとさせていただきます。大変申し訳ありませんが、御退出をお願いします。